

女子 聖和女学院6年ぶり

県高校新人大会

バレー

男子 佐世保南11年ぶり



【バレーボール女子決勝、聖和女学院-純心女】第3セット、ブロックに跳ぶ聖和女学院の(左から)OP中村、MB岡住=島原市、島原復興アリーナ(山口隆行撮影)

高速コンビで揺さぶる

バスケットボールの男子決勝は佐世保工が序盤からリードして、長崎東を83-78で振り切った。女子決勝は長崎女が粘る佐世保南を76-71で退けた。男女上位各4校は全九州春季選手権(3月14、15日・鹿児島)に出場する。

○…バレーボール女子の聖和女学院が6年ぶりに王座を奪回した。息の合った高速コンビで揺さぶり、準決勝は九州文化学園、決勝は純心女にフルセットの末に粘り勝ち。主将のセッター津田は「相手の崩し方をみんなで話し合っただけで考えられた」と声を弾ませた。

1本目のレシーブを速くセッターに返して、ブロックが手薄な選手にトスを上げる練習を繰り返してきた。この日はテンポの速い展開から、MB岡住、山下、WS中嶋、田口らが次々と加点。ライトから強打やフェイントを決めたOP中村は「ブロックが1人の時に上げてくれたから得点できた」と司令塔のトス回しに感謝しきりだった。

その3人のセッターを使い分ける戦い方も、試合中に変化をもたらした。岡田監督は「まだ探りながらの段階。みんなのいいところを出し合っていきたい」とさらなる進化を期待していた。

(中島崇雄)

県高校新人大会は27日、各地でバレーボールとバスケットボールの2競技が行われ、バレーボールの男子は佐世保南が11年ぶり、女子は聖和女学院が6年ぶり、ともに5度目の優勝を飾った。バスケットボールの男子は佐世保工が2年ぶり3度目、女子は長崎女が3年連続3度目の頂点に立った。

院西	南佐	大村	▽準決勝
学西	世保	工	
2	2	2	
2526	2525	2525	
1424	2218	2216	
0	0	0	
山長	山長	院西	
崎南	崎南	学西	

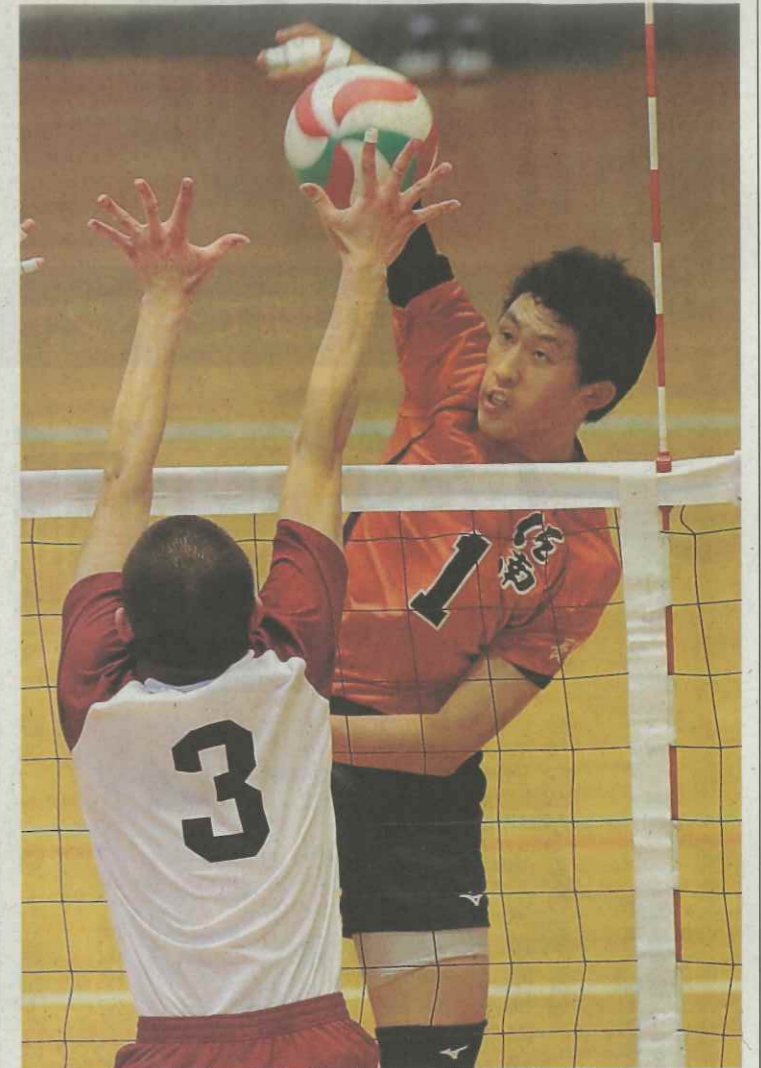
学聖	南佐	▽決勝
院和	世保	
女	2	
2	2	
2522	2515	25
228	228	23
2025	2025	23
26	2	1
1	大	大
化九	村	工
学州		
園文		

学聖	純心	院西
院和	女2	学西
女	2	2
2	2	2
2525	2525	2525
21	1413	1810
1515	0	0
25	院西	院西
1	学西	学西
1		
純心		
女		

○…バレーボール男子で11年ぶりの頂点に立った佐世保南。準決勝で昨夏の県協会長杯決勝で敗れた長崎南山に雪辱を果たすと、決勝は大村工にフルセットの末に競り勝った。主将のリベロ古川は「勝負どころで引かずに攻める気持ちを出せた」と勝因を挙げた。

決勝は第1セットを25-23で先取した。第2セットは大村工の組織的な堅守につかまって15-25で落としたが、最終セットはMB馬場が「ブロックを中に寄せたい」と序盤に速攻を決めてサイドのマークを分散。強気のサーブも相手のレシーブを乱し、切り返しからエース入来、小森、吉村らがスパイクを決めて25-20で振り切った。

昨季からの主力が多く残る今季。まずは県王座をつかんで弾みをつけた。友松監督は「勝てたのは自信になる。たくさん課題も見えたので、これからは生かしたい」と先を見据えていた。(中島崇雄)



【バレーボール男子決勝、大村工-佐世保南】第3セット、佐世保南のエース入来がスパイクを放つ=島原市、島原復興アリーナ(山口隆行撮影)

攻める気持ちを出せた

女子 長崎女が3年連続

バスケット

男子 佐世保工2年ぶり

○…バスケットボール女子は長崎女が3連覇。昨年11月の長崎地区新人大会で敗れた長崎西に準決勝で雪辱し、決勝は3年ぶりの優勝を狙った佐世保南を退けた。三根監督は「1試合ごとに強くなっている」と手応えを口にした。

1試合



【バスケットボール女子決勝、ドライブインからシュート、22

長崎	工佐	▽準決勝
東	世保	
80	87	
1824	2819	1822
1622	1715	2424
1520	2616	80
77	大	長崎
77	村	西
工佐	▽決勝	長崎
世保		西
83		93
1821	1727	2032
2120	2314	2219
		2120
		2016

【バスケットボール男子決勝、シュートを放つ



強気で

○…バスケットボール男子で2年ぶりにV奪回した佐世保工。県内主要大会で一度も4強に入らなかった昨季の悔しさも胸に、今季最初の県タイトルを手にした。主将のガード馬場が「誰が出て強気で走るのが強み」と胸を張ったように、決勝は選手14人がコートに立って接戦を制した。